

学科課程カリキュラム 及び 授業計画

【教職課程科目】

[履修にあつたての遵守事項]

我が国の大学教育は単位制度を基本としており、1単位あたり45時間の学修を要する内容をもって構成することが標準とされている。ここでいう1単位あたりの学修時間は、授業時間内の学修時間だけでなく、その授業の事前の準備学修・事後の準備復習を合わせたものになっている。この主旨を踏まえ、各教科の履修に当たっては、授業計画を参考に予習・復習に努め、1単位当たりの学修時間を確保することに努めること。

2021年度
第一工科大学

教職課程科目

教育の基礎的理解に関する科目等

凡例		教 職（☆：必修 ★：選択 無印：対象外 ） ○：集中講義 中技：中学校技術 中数：中学校数学 高工：高校工業 高数：高校数学															
科目 区分	科目 番号	授業科目	科目 単位	週授業時間数								区分最低 修得単位		免許別必修 ・選択区分		備 考	
				1 年		2 年		3 年		4 年		中学	高校	中 技	高 工		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
教育の基礎的理解に関する科目	6561	教育原理	2		2							11	11	☆	☆		
	6511	教師論	2	2										☆	☆		
	6562	教育経営論	2				2							☆	☆		
	6514	教育心理学	2			2								☆	☆		
	6529	特別支援教育論	1				①							☆	☆		
	6515	教育課程論	2				2							☆	☆		
導 道、 教育、 総合的な 学習等 に関する 科目	6524	道德教育	2					②				10	8	☆		中免のみ必修	
	6532	特別活動論	1					1						☆	☆		
	6533	総合的な学習の時間	1					1						☆	☆		
	6564	教育の方法と技術	2					②						☆	☆		
	6527	生徒指導論	1					1						☆	☆		
	6534	進路指導論	1					1						☆	☆		
	6528	教育相談	2					2						☆	☆		
教育実践に関する科目	6544	事前・事後指導	1							1		7	5	☆	☆		
	6545	教育実習Ⅰ	2							②				☆	☆		
	6546	教育実習Ⅱ	2							②				☆		中免のみ必修	
	6547	教職実践演習（中・高）	2								2			☆	☆		
		計	47									28	24				

教科番号	6561	授業科目名	教育原理				
教員免許取得のための必修科目／選択科目							
開講時期	1 後	単位数	2 単位	担当教員名	永田 正明	担当形態	単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想				
【授業の到達目標及びテーマ】 学校における教育活動は、ひとりひとりの人間の成長・発達のもとより、国家・社会の発展に関わるものでありその教育の成否は教員の資質能力に大きく左右される。そこで、教育の理念や実践知を、教育の歴史や思想を生み出した社会的背景の中で理解を深める。そして教員を志す学生が、これまでの教育や学校の営みが果たしてきた役割を客観的に理解し、今後の教育のあり方を展望する資質能力獲得することを目指す。							
【授業の概要】 教育の本質や目的、教授理論などを歴史的・実証的に学習する。その際、社会的教育現象は決して歴史社会から切り離されたものでないで、西洋教育史や日本教育史の時系列における学習と、今日社会の教育課程や学習指導要領などの学校教育の実践を学習する。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容		学習課題（予習・復習）		時間(分)	
1	教育の本質を考える	教育の基本的概念について本質を理解する		配布プリント（該当箇所を指示）を読む。授業プリントを学習。		30 60	
2	人間(人類)の発達と言語の役割	家族と社会における教育の基本的意味（時間と空間を超えての情報・技術の伝達）。言葉の構造		テキスト（該当箇所を指示する）を読む。授業プリントを学習。		60 60	
3	教育と、子ども・人間の発達	人間存在の本質／人間的環境（親、学校、地域社会など）の重要性を学ぶ。		テキスト（該当箇所）を読みまとめる。授業プリントを復習。		30 60	
4	発達環境としての人間的(社会)	「狼に育てられた少女」の話から学ぶこと、学ぶべき教訓		テキスト（該当箇所）を読みまとめる。小テストの準備。		30 60	
5	西洋教育思想の展開と社会背景(1)	ソクラテスの教育思想と方法。西洋中世の共同体と人間		テキスト（該当箇所）を読みまとめる。授業の復習をする。		60 60	
6	西洋教育思想の展開と社会背景(2)	イタリアルネサンスと人間的(自然)の思想、欲求的人間の覚醒		ルネサンスの美術などを調べ、何が「欲求的」か、を考えて発表。発表されたものをまとめる		120 60	
7	西洋教育思想の展開と社会背景(3)	北方ルネサンスと人間の経験的知の重視		配布プリントを読みまとめる。とりわけ「神の支配」から脱する人間の(実践)を考える		60 60	
8	近代教育原理としての2本の柱及びピルソーとペスタロッチの教授法	1～7回までの総復習として「2本の柱」（歴史を貫く教育的人間の思想）をディスカッション。「自然人」の教育、開発教授法		ディスカッションの内容をまとめる。期日設定し、提出する		30 60	
9	産業革命と教授法の改革、近代教育制度の成立と展開	助教法。ヘルバルト教授法。義務教育及び公教育の思想から権利としての教育へ		テキスト（該当箇所）を読みまとめる。授業の内容を復習する。		30 60	
10	公教育制度の発展と整備（教育及び学校の変遷）：	公教育の制度的整備と、多様な教育実践の試み（ニール、モンテッソーリ等）、世界新教育運動など。		テキスト（該当箇所）を読みまとめる。授業の内容を復習する。		30 60	
11	日本教育史でのeducationについて	寺子屋教育と識字率の向上、明治維新後の近代教育の意味		テキスト（該当箇所）を読みまとめる。授業の内容を復習する。		30分 60分	
12	戦後日本の教育改革	戦後教育改革、学習指導要領の意味と変遷		テキスト（該当箇所）を読みまとめる。演習問題の取り組みと提出		60分 120分	
13	今日日本の教育問題	「ゆとり世代」の諸問題。学力問題。PISA 学力とは？		配布プリントを読み、意見・感想を発表する準備。授業のまとめ		60分 60分	
14	特別支援教育の諸問題	小1 プロブレムなど問題を抱えた子どもの発見・対応。ディスカッション		授業のまとめ。ディスカッションの内容をまとめる。期日設定し、提出する。		60分 120分	
15	発達障害を理解する	小1 問題を想起しながら、発達障害の基本を理解する。学級での包摂と自立を考える。		いろいろな障害の種類と、これまでであった経験を書いてくる。自分が障害を持っていたらという想定で教育を考えてみる。		60分 60分	
	定期試験						
【テキスト】		随時、関連資料を配付					
【参考書・参考資料等】							
【学生に対する評価】		出席（60%） レポート（40%）で総合的な評価を行う。					

教科番号		授業科目： 教師論		
開講時期	後期	1年 2単位	担当者： 萩原 和孝	
科目	教育の基礎的理解に関する科目		教員免許取得のための必修科目	
施行規則に定める科目区分		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		
【授業の到達目標】				
① 公教育の目的や教師像・教師観の歴史的変遷、学校教育・教職の意義や特徴を理解している。				
② 「チームとしての学校（チーム学校）」・「学び続ける教員像」など、学校教育を取り巻く環境・状況の変化、時代の要請を踏まえた上で、今日の教員に求められている役割や資質能力等を理解している。				
③ 教員の服務上・身分上の義務、研修制度など、一般の地方公務員とは異なる「教育公務員」としての制度上の位置づけ、職務内容・義務等を理解している。				
④ 上記①～③などを通じ、教職に対する魅力・責任感を感じ、進路選択としての教職への意欲を高める。				
【授業の概要】				
本講義を受ける学生は、これまで児童生徒の立場から教師による授業やその他の教育活動を見てきており、その仕事の一端を知っているはずである。しかし、本講義で公教育の目的や教師の法的な位置づけ・業務・責任・社会的意義、近年の教育政策や教育に関わる現代的課題、社会的要請などを学ぶことで、児童生徒の立場からは見えなかったであろう、今日求められている教師のあり方や、教師の仕事などをあらためて認識し、全体像を把握してもらいたい。				
また、適宜、小テストを実施して、知識の定着を図る。				
【授業の要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	教職の意義（オリエンテーション）	公教育の目的。教員免許状の種類・意義。	教職課程を受けようと思った動機を考え、まとめる。 授業プリントの復習。	60 30
2	教師像・教師観の変遷	我が国における教師像・教師観の歴史的変遷。聖職者論・労働者論・専門職論	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
3	教員の身分に関わる法規	教員の身分、服務規程（身分上・職務上の義務など）、懲戒処分・分限処分	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
4	教師の仕事と特徴	教師の業務の範囲、1日・1週間の流れ、同僚や保護者とのコミュニケーション。 小テスト①	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
5	学習指導	学習指導要領の概要、教科書・教師用指導書、副読本などの補助教材	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
6	生徒指導	児童生徒理解、教育相談、懲戒、体罰の禁止など。	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
7	いじめ対応	いじめ事件についての判決から教師の法的責任や義務について考える。	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
8	「学び続ける教員」	研修制度、免許更新制、校内研修の意義、反省的実践家としての教師。小テスト	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30

9	教師の生涯発達	教師のライフサイクル・モデル等。成長や葛藤、危機	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
10	教員の勤務の実態と働き方改革	多忙化の現状と対策。残業時間の上限、変形労働時間制など。	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
11	近年の教育政策と求められる教員の役割	「チーム学校」 （チーム学校）」、教員以外の学校や教育に関わる人的体制	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
12	子どもを取り巻く問題	児童虐待への対応、子どもの貧困など。小テスト③	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
13	地域と教員の関係性	子校と地域の連携・協働。 広域人事制度と地域限定採用	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
14	「学び続ける教員」	研修制度、免許更新制、校内研修の意義、反省的实践家としての教師。	事前配布資料を読む。 授業プリントの復習。	60 30
15	まとめ	講義のまとめ。 小テスト④。	配布資料を読む。 授業の復習。	60 30
【テキスト】 テキストなし。適宜、資料等を配布する。				
【参考書・参考資料等】 浅田匡・河村美穂編著『教師の学習と成長―人間教育を実現する教育指導のために―』ミネルヴァ書房、2021年。				
【学生に対する評価】 小テスト（40％）、レポート提出（60％）				
【実務経験内容】 小学校教諭				

教科番号		授業科目：教育経営論（Educational Management）		
開講時期	後期	2年 2単位	担当者：萩原 和孝	
科目	教育の基礎的理解に関する科目		教員免許取得のための必修科目	
施行規則に定める科目区分		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		
【授業の到達目標】				
① 公教育・学校教育の原理や理念、教育法規および教育行政などについての基礎的知識を理解している。				
② 学校経営・学級経営について、学校組織や公務分掌、PDCAを基礎とした学校評価などについて理解し、具体的な経営改革の事例などを知ることができる。				
③ 地域との連携・協働など、近年の教育政策動向や学校を取り巻く現代的課題を理解し、また、学校や教師に求められる安全配慮義務や危機管理マニュアル等作成の重要性を知ることができる。				
④ ①～③を通して、国家・地方公共団体・地域社会・学校などにおける教育に関する制度や活動を相互に関連づけながら、よりよい社会・よりよい教育の在り方を考えようとする。				
【授業の概要】				
学習者や教育者の主体性に着目した「教育経営」という観点で、公教育、教育行政、学校・学級の制度や仕組みなどについて、その歴史的変遷や教育法規も含めた基礎的な知識、近年の教育動向について学ぶ。				
また、学校安全については、裁判の判決書などを通して、実際に起こった具体的な事例を知り、安全配慮義務や危機管理マニュアル作成等の重要性について学ぶ。				
国家・地方公共団体・地域社会・学校の教育に関わる様々な活動を個々に理解するだけでなく、トータルなシステムとして包括的に捉える必要がある。				
適宜、小テストを実施して、知識の定着を図る。				
【授業の要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	「教育経営」の意味、公教育の原理	教育を受ける権利。子どもの権利条約。義務性・無償性・中立性など。	テキスト第1章を読む。 授業の復習。	60 30
2	教育法規の体系と教員の身分・	日本国憲法、教育基本法、学校教育法、地方公務員	テキスト第5章を読む。 授業の復習。	60 30
3	中央教育行政	近年の教育改革と中央教育審議会、教育再生実行会議、教育振興基本計画等。	テキスト第8章を読む。 授業の復習。	60 30
4	地方教育行政	小テスト①実施。 教育委員会制度の成立と変	テキスト第4章を読む。 授業の復習。	60 30
5	教育財政・学校財務	学校運営経費の負担主体、教職員にかかる経費、義務教育費国庫負担、給特法。	テキスト第7章・配布資料を読む。 授業の復習。	60 30
6	学校経営・学校評価	学校教育目標、目標実現のための各種計画、評価（PDCAサイクル、『学校評価ガイドライ	テキスト第9章を読む。 授業の復習。	60 30
7	学校経営（校内組織）	小テスト②実施。 校内組織・公務分掌、職員会議の位置づけ、チームとしての学	配布資料を読む。 授業の復習。	60 30
8	学校経営改革の事例	公立中学校の具体的な学校経営改革。	配布資料を読む。 授業の復習。	60 30
9	働き方改革	教員の勤務実態、近年の働き改革。部活動の位置づけ	配布資料を読む。 授業の復習。	60 30
10	現代的課題と学校経営	いじめ・不登校、子どもの貧困と格差、外国人児童生徒教育、特別支援教育など	配布資料を読む。 授業の復習。	60 30

11	地域と学校の連携・協働	小テスト③実施。 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）、学校評議員、学校支援地域本部など。	テキスト第9章、配布資料を読む。 授業の復習。	60 30
12	学級経営	学級における教育活動。学級目標、学級だより、学級PTAなど。	テキスト第10章を読む。 授業の復習。	60 30
13	学校安全（防災）	学校保健安全法、学校安全計画、東日本大震災の事例（大川小津波訴訟の判決書）から学ぶ。	配布資料を読む。 授業の復習。	60 30
14	学校安全（学校事故）	学校事故に関する判決書から安全管理や安全配慮義務を学ぶ。	配布資料を読む。 授業の復習。	60 30
15	まとめ	講義のまとめ。 小テスト④実施。	配布資料を読む。 授業の復習。	60 30
【テキスト】 本図愛実・末富芳『新・教育の制度と経営〔三訂版〕』学事出版、2020年				
【参考書・参考資料等】 適宜、資料等を配布する。				
【学生に対する評価】 小テスト（40％）、レポート提出（60％）				
【実務経験内容】 小学校教諭				

教科番号	6514	授業科目名	教育心理学（英文 Educational psychology ）				
教員免許取得のための必修科目／選択科目							
開講時期	前期	単位数	2 単位	担当教員名	永田 正明	担当形態	単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				
【授業の到達目標及びテーマ】 ・ 幼児，児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身につけ，発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。							
【授業の概要】 一般心理学ではなく，教育心理学がなぜ教職課程で必要とされるのかを本講義全般を通して理解できるようにしたい。また，特に児童青年期に心が大きく成長してゆくと同時に，健全な人間形成と学習活動が成されなければならず，人間として最も重要な時期でありそれなりの発達課題があることを理解したい。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容			学 習 課 題		時間(分)
1	教育心理学の特徴	一般心理学と教育心理学の特徴を押さえ，教育の中でも心理学が生きてくことを理解する。			テキスト概説 心理学会とは		講義 80 ノート 10
2	発達心理学	発達を規定する要因，発達段階と発達課題について，ピアジェ理論及び遺伝と環境問題とは何か。			テキスト解説 有力理論のまとめ		講義 70 整理シート 20
3	やる気を高める①	「動機づけ」の意味と重要性を理解し，学習でのキーワードであるが故に永久的な難問である。			テキスト解説 理論・歴史まとめ		講義 70 整理シート 20
4	やる気を高める②	学習意欲を規定すると予測される要因について理解する。学習性無気力理論や自己効力理論			発見学習 論文に触れる		要因探し 50 講義 40
5	学習のメカニズム	学習の基礎としての条件づけの要素を理解し，問題解決の方略を見る。			考えつく要素を話し合う。		問題討議 30 整理シート 60
6	授業の心理学	習熟度別授業や個別授業はどんなメリットがあり，デメリットは何か。総合学習の意義を考える。			高校時代の経験で 討議し意義を問う		問題討議 30 整理シート 60
7	教育評価の本当の意味を問う	評価の持つ意味を改めて考え，教師の行うべき良い評価方法を考えてみる。			現行の評価について議論する。		問題討議 30 整理シート 60
8	性格の理解①	パーソナリティーの形成と諸理論及び測定方法を理解する。妥当性と信頼性概念。			テキスト解説 参考資料の紹介		講義 70 整理シート 20
9	性格の理解②	パーソナリティーの代表的測定方法である質問紙法を実際に使用しながら理解する。			無料質問紙の紹介 質問紙の実施		講義 20 実施 70
10	性格の理解③	自分たちで実施した質問紙をデータ化して，パソコンによる統計分析にチャレンジしてみる。			パソコンでのデータ入力と出力実践		実践 70 整理シート 20
11	知的能力を考える	知的能力の発達と測定，創造性と学力及び学力不振と何かを考える。アメリカの大学入試問題は？			テキスト解説 学力不振指導検討		講義 60 課題討議 30
12	社会性を育む	向社会的行動・共感性・役割取得問題・道徳性・親子関係・仲間関係といった概念を知る。			テキスト概説 まとめ		講義 70 整理シート 20
13	学級の心理学	学級集団，教師子供関係の複雑さを知る。教師期待効果，光背効果，ラベリングなどについて。			テキスト概説 まとめ		講義 70 整理シート 20
14	不登校問題を考える	不登校生徒の実態を知ることから始める。学級担任・養護教諭・学校カウンセラーのすべきこと。			各種データを概説 事例を考える		問題提示 20 整理シート 70
15	障害児を考える	どのような障害があり，現在どのように対応しているのかを知り，障害児教育とは何かを考える			テキストや参考資料を見て考える		講義 70 整理シート 20
	定期試験						
【テキスト】 桜井茂男（編）2017 「改訂版 たのしく学べる最新教育心理学」 図書文化社							
【参考書・参考資料等】 随時こちらから示す							
【学生に対する評価】 [授業への参加状況]（60％），[課題レポート]（40％）で総合的に評価する。							
【実務経験内容】 高校教諭（校長							

授業科目名： 特別支援教育論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名：永田 正明 担当形態：単独
科 目	教育の基礎理論に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		
授業の到達目標及びテーマ さまざまな特別の支援を必要とする生徒の心身の発達や特性、学習過程などを理解し、個々の生徒を学級や学校で支援するだけでなく、家庭や地域にも支援の輪を広げていく方法を身にこつけることをめざします。 ①特別の支援を必要とする生徒のニーズについて基礎的・基本的な知識を理解する。 ②特別の支援を必要とする生徒と保護者が地域の方々と「共生」する支援方法を理解する。 ③新しい特別な支援を必要とする生徒を理解し、支援の方法を理解する。			
授業の概要 知育・徳育・体育の三位一体によって人格の完成をめざす教育を実践するという教師の使命は、特別な支援を必要とする生徒との「共生」（共に学ぶ）姿勢を学級づくりに活かすことでより強固なものになることを、具体的実践例やアクティブ・ラーニングを通して学習します。			
授業計画 第1回：特別支援教育とは何か。 第2回：インクルーシブ教育への流れ（分離から統合へ） 第3回：知的障害・発達障害 第4回：視覚障害、聴覚障害、言語障害 第5回：肢体不自由児（者）、病弱・虚弱児（者） 第6回：自閉症スペクトラム障害 第7回：国際化の社会（クロスカルチャー、異文化共生） 第8回：「共生」への学級づくり			
テキスト 『よくわかる教育相談』（春日井敏之・伊藤美奈子 編著、ミネルヴァ書房） ※（科目「教育相談」で使用したものと同一である）			
参考書・参考資料等 授業中に適宜指示する。			
学生に対する評価 授業への参加（50%）、レポート（50%）で総合的に評価をします。			
実務経験内容 高校教諭（校長）			

教科番号		授業科目： 教育課程論（Educational Curriculum Theory）		
開講時期	後期	2 年	2 単位	担当者： 萩原 和孝
科目	教育の基礎的理解に関する科目		教員免許取得のための必修科目	
施行規則に定める科目区分		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		
【授業の到達目標】				
①教育課程の目的、役割・機能・意義を、学習指導要領の法的な位置づけや歴史的変遷などを含めて理解している。				
②教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し、教科等横断的な視点で「総合的な学習の時間」などの年間指導計画を作成することができる。				
③教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、PDCAサイクルなどの学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解している。				
【授業の概要】				
前半は、日本における教育課程や学習指導要領の歴史的変遷など通じて、各時代の教育課程の編成原理や社会的背景等を学び、教育課程の役割・機能・意義、教育課程編成の基本原則を理解する。				
中盤は、2017年・2018年に告示された新学習指導要領や中央教育審議会の答申などから、今日求められているカリキュラム・マネジメントを含む教育課程のあり方や編成の視点などについて理解する。				
後半は、特色ある教育課程やオルタナティブ教育などにも目を向け、教育課程のあり方についての視野を広げる。また、教科等横断的な視点にもとづいた「総合的な学習の時間」の年間指導計画作成を行う。				
定期的に小テストを行い、知識の定着を図る。				
【授業の要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	教育課程の役割、機能、意義	教育課程とは。教師の専門性としての教育課程編成能力。基準としての学習指導要領の位置づ	テキスト(p.1～14)を読む。 授業の復習。	60 30
2	教育課程の基本原則、類型、構	スコープ・シーケンス、経験主義・系統主義など。	テキスト(p.15～26)を読む。 授業の復習、小テストに備え	60 30
3	日本における教育課程の変遷と社会的背景（1）	小テスト①。 明治・大正・昭和初期の教育課程。	テキスト(p.27～31)を読む。 授業の復習。	60 30
4	日本における教育課程の変遷と社会的背景（2）	学習指導要領の変遷（戦後「新教育」～教育課程の現代化）。 学習指導要領の性格・位置づけの変化など。	テキスト(p.32～35)、『学制百二十年史』（第二編第一章の概説、第二編第二章の概説）を読む。 授業の復習。	60 30
5	日本における教育課程の変遷と社会的背景（3）	学習指導要領の変遷（人間中心カリキュラム、「生きる力」「ゆとり」「確かな学力」など）	テキスト(p.32～35)、『学制百二十年史』（第三編第一章第一節）を読む。 授業の復習、小テストに備える。	60 30
6	新学習指導要領改訂の背景と特徴（1）	小テスト②。 「社会に開かれた教育課程」「資質・能力の3つの柱」などの背景や意義。	学習指導要領第1章総則を読む。 授業の復習。	60 30
7	新学習指導要領改訂の背景と特徴（2）	「主体的・対話的で深い学び」、「教科等横断的な視点」などの背景や意義。	学習指導要領第1章総則を読む。 授業の復習。	60 30
8	新学習指導要領改訂の背景と特徴（3）	教科と教科外活動の違い。 「特別の教科 道徳」・特別活動等の目標、授業時数	テキスト（p.143～154）を読む。 授業の復習。	60 30

9	カリキュラム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントの三つの側面、『学校評価ガイドライン』など。	中学校学習指導要領総則の解説（第3章第1節4）を読む。 授業の復習。	60 30
10	教育課程評価・学習評価	評価の意義・役割。指導要録。学習評価の分類。パフォーマンス評価など。	テキスト(p.161~177)を読む。 授業の復習、小テストに備える。	60 30
11	学校種ごとの教育課程編成の特徴	小テスト③。 幼稚園・小・中・高等学校・特別支援学校・義務教育学校・中等教育学校の教育目的。小中連携・一貫教育など。	テキスト(p.51~92)を読む。 授業の復習。	60 30
12	特色ある教育課程やオルタナティブ教育	国内の特色ある教育課程（私立のシュタイナー教育など）や、NPO法人、フリースクール、諸外国の教育課程の理論や実践。	テキスト(p.64、127~141)を読む。 授業の復習。	60 30
13	年間指導計画の作成	グループで教科等横断的な視点に配慮した「総合的な学習の時間」の年間指導計画を作成する。	総合的な学習の時間などの年間指導計画を事前に入手し、それらに参考に、新規の指導計画または改善した計画を作成する。	90
14	年間指導計画の発表・改善	作成した年間指導計画を発表し、他のグループからの質問に答える。	他の受講生の発表や指摘を受けて、さらに計画を改善する。	60 30
15	まとめ	小テスト④。 教師の専門性としての教育課程編成能力について考え、発表す	発表の準備、小テストに備える。 評価試験に備える。	60 30
【テキスト】 古川治ほか『改訂新版 教職をめざす人のための教育課程論』北大路書房、2019年				
以下、いずれも文部科学省ホームページに掲載されている。 ・中学校学習指導要領（平成29年告示、文部科学省）および総則の解説 ・高等学校学習指導要領（平成30年告示、文部科学省）および総則の解説 【参考書・参考資料等】 ・「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」平成28年12月、中央教育審議会 ・『学制百年史』『学制百二十年史』。 ・その他、随時配布する。				
【学生に対する評価】 定期試験(50%)、第14回の発表(40%)、小テスト（10%）で総合的な評価を行う。				
【実務経験内容】 小学校教諭				

教科番号	6524	授業科目名	道徳教育（Moral Education）				
教員免許取得のための必修科目／選択科目							
開講時期	3 年後期	単位数	2 単位	担当教員名	永田 正明	担当形態	単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			道徳の理論および指導法				
【授業の到達目標及びテーマ】							
これまでの日本の道徳教育の歩みを踏まえながら、現在の学校教育における道徳教育の目標や道徳科の指導計画と授業実践に関する知識・技能を身につけ、教員となるための徳性の涵養と道徳教育の実践力の向上を目指す。							
【授業の概要】							
道徳および道徳教育とは何かについて、その意義や原理、道徳性の発達について理解する。現代社会における道徳教育の課題について考え、学校で取り組む道徳教育や道徳科の役割、指導法と評価のあり方に関する知識や技能を身につける。コールバーグ理論によるモラルジレンマ問題を取り上げ全員で討議する。							
回数	題 目	授 業 内 容			学習課題（予習・復習）		時間(分)
1	道徳の本質	道徳とは何かを深く考える。					30 60
2	道徳の意義と課題	道徳教育の意義と課題			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
3	道徳性の発達	道徳性の発達理論			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
4	道徳教育の歴史	日本の道徳教育の歴史① (戦前における修身教育)			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
5	道徳教育の歴史	日本の道徳教育の歴史② (戦後の教育改革と道徳教育)			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
6	道徳教育の目標	学習指導要領と道徳科の目標			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
7	道徳科の内容 A と指導法	主として自分自身に関すること (教材や授業展開の工夫)			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
8	道徳科の内容 B と指導法	主として人とかかわりに関すること (教材や授業展開の工夫)			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
9	道徳科の内容 C と指導法	主として集団や社会との関わりに関すること (教材や授業展開の工夫)			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
10	道徳科の内容 D と指導法	主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること (教材や授業展開の工夫)			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
11	道徳教育の推進	学校全体で取り組む道徳教育			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
12	道徳教育の指導計画	年間計画と学習指導案			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
13	道徳教育の評価	学習評価と教師の授業評価			テキストの予習 授業プリントの復習		30 60
14	道徳科の指導	模擬授業の計画			学習指導案の作成 授業の準備		120 120
15	道徳科の指導	模擬授業の実践と評価			予習、授業の準備 学習指導案の振り返り		60 60
【テキスト】							
【参考書・参考資料等】							
【学生に対する評価】 出席及び授業参加の状況（40％）、レポート（40％）、試験（20％）							
【実務経験内容】 高校教諭（校長）							

授業科目	教育の方法と技術	教員の免許状取得のための必修科目	単位数：2単位	担当教員名：小林博典
開講時期	後 期			
科 目		教職に関する科目（道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目）		
各科目に含めることが必要な事項		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
【授業の到達目標及びテーマ】 これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。				
【授業の概要】 子供たちの資質・能力を育成するための教育方法、授業を構成する要件、学習評価に対する考え方について、実践事例を紹介しながら解説する。また、情報メディア活用の歩み、情報メディアの種類や機能、映像の認知等の検討を通して、教育の目的に応じた指導技術を整理した後、学習指導案を作成する。さらに、興味・関心を高めたり課題をつかませたり学習内容をまとめさせたりするための情報機器の活用法及び情報活用能力を育成する指導法について学ぶ。				
授業計画				
回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	資質・能力の育成と教育方法	実践事例や小学校・中学校学習指導要領を参考に、子供たちの資質・能力を育成するための教育方法の在り方について検討する。また、情報メディアの活用等、教育方法の工夫・改善について解説する。	●テキスト1の第1章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45分 45分
2	授業の構成要件と学習環境	授業を構成する要件（児童生徒、学級、教員、教室、教材）を整理した上で、情報メディアによる学習環境の充実について解説する。また、学習評価をもとに授業の構成要素や学習環境を検討する意義について解説する。	●テキスト1の第2章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45分 45分
3	映像等の認知と学習評価	映像等の認知の特性を整理し、学習評価をもとに、教育方法を省察する意義について検討する。	●テキスト1の第5章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45分 45分
4	博物館・図書館と教育方法	博物館・図書館を活用した教育方法について紹介し、社会に開かれたカリキュラムについて検討する。また、学習・情報センターとしての学校図書館の役割について確認する。	●テキスト1の第4章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45分 45分
5	教育の情報化	情報メディアの中でも、特にコンピュータやインターネットの活用に焦点を当て、学校教育における情報化の意義と歩みを整理する。	●テキスト1の第6章を読み、まとめる。 ●テキスト2の第1章との関連を整理する。	45分 45分
6	情報活用能力の育成	学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力を育成する意義と方法について、国内外の動向を整理しながら解説する。	●テキスト1の第3章を読み、まとめる。 ●テキスト2の第4章との関連を整理する。	45分 45分
7	情報モラル教育	ICT活用指導力「D 情報モラルなどを指導する能力」を解説し、情報モラル等を指導する際の留意点について整理する。	●テキスト2の第5章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45分 45分

8	目的に応じた指導技術	ICT活用指導力「A 教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用する能力」と「B 授業中に ICT を活用して指導する能力」について解説し、教育の目的に応じた指導技術について検討する。	●テキスト2の第3章を読み、まとめる。 ●テキスト2の第2,7章との関連を整理する	45分 45分
9	各種情報の分析・共有と学習指導	ICT活用指導力「E 校務に ICT を活用する能力」を解説しながら、各種情報の分析・共有による学習指導等の改善について解説する。	●テキスト2の第6章を読み、まとめる。 ●授業の内容を復習する。	45分 45分
10	授業実践演習 1-1	プレゼンテーションソフト（フラッシュ型教材等）による教材開発と授業デザイン	●教科等のねらいを達成するために有効なフラッシュ型教材を構想する。	90分
11	授業実践演習 1-2	教育の目的に応じた指導技術に留意しながら、学習指導案を作成する。	●フラッシュ型教材を活用する際の生徒への働きかけ方を整理する。 ●相互評価の結果を整理する。	45分 45分
12	授業実践演習 1-3	興味・関心を高めたり課題をつかませたり学習内容をまとめさせたりするための情報機器の活用法について留意しながら模擬授業を実施する。	●相互評価の結果を受け、フラッシュ型教材及び授業展開の改善方策をまとめる。	90分 45分
13	授業実践演習 2-1	映像コンテンツ活用を含む授業の学習指導案を作成する	●インターネット上に公開されている映像コンテンツを選択し、内容や構成の特徴を整理する。	90分
14	授業実践演習 2-2	映像コンテンツを活用した模擬授業を実施し、相互評価を行う	●模擬授業を振り返り、映像コンテンツの活用法及び授業展開について改善方策をまとめる。	45分 45分
15	まとめ	教育の方法論、教育の目的に応じた指導技術、また情報メディア活用について総合的に整理し、教師に求められる力量について確認する	●ICT活用指導力など、メディアを教育的に活用する力量を自己評価し、改善策をまとめる。	90分
【テキスト】 ・テキスト 主体的・対話的で深い学びの環境と ICT ～アクティブ・ラーニングによる資質・能力の育成～ 久保田賢一・今野貴之 編著 東信堂				
【参考書・参考資料等】 井上知義, 視聴覚メディアと教育方法 Ver. 2, 北大路書房				
【成績評価基準・方法】 ノート取得状況&受講態度(40%)、レポート(30%)、試験(30%)で総合的な評価を行う。				
【実務経験内容】				

教科番号	6535	授業科目名	生徒指導論（ Theory of Methods of Student Guidance ）				
教員免許取得のための必修科目／選択科目			必修科目				
開講時期	後 期	単位数	2 単位	担当教員名	永田 正明	担当形態	単 独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			生徒指導の理論及び方法。進路指導（キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。）の理論及び方法。				
【授業の到達目標及びテーマ】 生徒指導と進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を理解し、実践的な指導ができることを目標とする。							
【授業の概要】 生徒指導の意義や原理を理解し、一人一人の生徒のよさや特徴を理解して適切な指導・援助が行えるように学習する。また、いじめ問題や不登校への理解と対応についても具体的な事例を通して理解する。 進路指導及びキャリア教育の意義や原理を理解し、全ての生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方や指導の在り方を理解する。更に、キャリア発達に沿ったキャリア教育の在り方とその課題についても理解する。 また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れた授業内容を実施する。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容			学習課題（予習・復習）		時間(分)
1	生徒指導の目的・意義	生徒指導の究極の目的、生徒の自己指導能力を育てるための指導について学ぶ。			資料の P 1 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
2	生徒指導と生徒理解	生徒指導の基盤となる生徒理解。学校全体で進める生徒指導。集団指導と個別指導について学ぶ。			資料の P 2 ～ 3 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0
3	生徒指導と教育課程との関連	教育課程における位置付け。教育課程の共通性と生徒指導の個性について学ぶ。			資料の P 4 ～ 5 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
4	教育課程と生徒指導との相互作用	生徒指導と各教科以外の道徳教育・特別活動・総合的な学習との関連について学ぶ。			資料の P 6 ～ 7 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
5	教科における生徒指導の意義と推進	学習指導における生徒指導。学ぶことの意義、主体的な学習態度、居場所づくりについて学ぶ。			資料の P 8 ～ 10 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0
6	教育心理学の立場からの生徒指導	その生徒のための指導・援助。指導サービスと援助サービスの在り方とその方法等について学ぶ。			テキスト(P17～19) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
7	新しい生徒理解の捉え方と進め方	心理教育的な指導・援助の在り方と 3 つの側面からの生徒理解について学ぶ。			テキスト(P20～22) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
8	生徒指導の方法と指導原理	生徒を観察するポイントと指導原理。生徒指導の組織体制と生徒指導計画等について学ぶ。			テキスト(P23～28) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
9	生徒指導に関する主な法令と対応	生徒に対する体罰禁止に関する心得。生徒間暴力の事例を基にした暴力行為への対応を学ぶ。			テキスト(P123～128) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
10	いじめ問題の理解と対応	いじめ問題の事例をもとに、その対応等についてグループ討議を行い、発表する。			いじめ問題の事例を読み、その対応等についてレポートを作成する。 授業の内容を復習する。		1 2 0 6 0
11	進路指導及びキャリア教育の意義	進路指導・キャリア教育の目的と意義。また、その視点と指導の在り方について学ぶ。			テキスト(P43～47) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
12	キャリア教育の進め方と課題	キャリア教育の進め方とキャリア発達への支援のあり方。進路をめぐる最近の課題について学ぶ。			テキスト(P48～51) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
13	進路指導の組織的な指導体制	進路への関心・意欲を持たせる支援の在り方。勤労観と職業観を育てる教育について学ぶ。			テキスト(P52～55) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
14	体験活動と進路情報	キャリア教育としての職場体験、インターンシップ、ボランティア活動等について学ぶ。			テキスト(P56～61) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0
15	進路指導とキャリア教育のまとめ	体験活動について、各自で作成したレポートを基にグループ討議を行い、発表する。			体験活動についてレポートを作成する。 授業の内容を復習する。		1 2 0 6 0
【テキスト】 よくわかる教育相談 春日井敏之 著 （ミネルバ書房）							
【参考書・参考資料等】							
【学生に対する評価】 授業への参加状況（60％），課題レポート（40％）で総合的な評価を行う。							
【実務経験内容】 高校教諭（校長							

教科番号	6528	授業科目名	教 育 相 談 （ 英 文 Educational counseling ）				
教員免許取得のための必修科目／選択科目							
開講時期	前期	単位数	2 単位	担当教員名	永田 正明	担当形態	単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法				
【授業の到達目標及びテーマ】 教育相談を進めるにあたり，生徒の発達の状況に即しつつ個々の心理的特徴や教育的課題を適切に捉え，心の支援をするために必要な基礎的知識を身につける。特に来談者中心療法について正しい理解をする。また今日的な課題である，いじめ・不登校・特別な支援を必要とする生徒に対するカウンセリングの知識及び方法を理解できるようになる。							
【授業の概要】 学校における教育相談の必要性と理論・相談方法について学ぶ。学校の教師から見た場合，生徒に対する指導といわゆるカウンセリングとの違いが曖昧になっていることが多い。生徒・保護者との相対する話し方一つでもって大きな溝ができ，生徒のやる気問題や不登校問題にまで発展するケースは珍しくないことまで理解したい。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容			学 習 課 題		時間(分)
1	教師とカウンセリング	これまでの教育相談に対する自己認識を確認して，教育相談がいかにあるべきかを考える。			教育相談の認識 臨床心理学の視点		G 討議 15 整理シート 75
2	ロジャースの来談者中心療法①	教育相談がカウンセリングであって，生徒指導ではないことを正しく理解する。			ロジャースのカウンセリング事例		事例研究 90
3	ロジャースの来談者中心療法②	前時のロジャース相談事例のどこに特徴があるのかを注意して抜き出してみる。3本柱			ロジャースのカウンセリング事例続		事例研究 90
4	ロジャースの来談者中心療法③	ロジャース理論を念頭に置き考え出されたと思われる他の心理療法を知る。			心理療法とカウンセリング		講義 60 整理シート 30
5	フロイトの精神分析①	古代人の夢観からフロイトとユングの夢分析について概観する。			夢，フロイト，ユングの結びつき		講義 90
6	フロイトの精神分析②	巨匠フロイトがどんなことに取り組み，どんな成果を世にもたらしてきたかに触れてみる。			フロイトの心の構成論と力動論とは？		講義 60 図式まとめ 30
7	フロイト派以後とカウンセラー	臨床心理士（スクールカウンセラー）の持つ力と学校教師の持つ力を見比べてみる。			なぜスクールカウンセラーが必要か？		講義 70 整理シート 20
8	不登校を考える①	不登校の歴史とこれまでの考え方。現代の不登校や引きこもりを考える。			何が不登校の原因で助長するのか？		討議 30 講義 60
9	不登校を考える②	不登校について事例問題を考えてみて，自分なりの対策を立てられるのか？			自分が教師だったら何ができるか？		事例問題 60 講義 30
10	不登校を考える③	不登校問題への対策に限界はあるのか？現在の学校教育での対応を考えてみる。			別室登校と不登校認定，通信制課程		講義 70 整理シート 20
11	不登校を考える④	学校での対応で復帰できなかった場合，最終的にどのような事態へ展開するのかを考えてみる。			フリースクールとNPO支援団体		問題討議 15 講義 75
12	いじめ問題を考える	いじめ問題のどこに難しさがあるのか。教師にできることは何か考えてみる。			個人の問題なのか？ 昔はなかったのか？		問題検討 60 整理シート 30
13	非行問題を考える	先ず非行を個人でできるのかどうか改めて考えてみる。非行の裏に何が存在するのかを考える。			非行の種類と原因を考えてみる。		問題討議 45 整理シート 45
14	虐待問題を考える	児童虐待と親の叱責厳罰との異同点があるのかを考えながら，教師としてどうあるべきか。			虐待をどうやって知るのか？対処法		問題討議 45 整理シート 45
15	発達障害を考える	発達障害の昔と今を知る。学校の取るべき対応は何かについて考えてみる。			障害の種類・特徴に応じた指導方法		講義 70 整理シート 20
	定期試験						
【テキスト】 春日井敏之・伊藤美奈子 「よくわかる教育相談」 ミネルヴァ書房							
【参考書・参考資料等】 随時こちらから示す							
【学生に対する評価】 【整理シート及びノート提出】（60％），【定期試験】（40％）で総合的な評価を行う。							
【実務経験内容】 高校教諭（校長）							

教科番号	6544	授業科目名	教育実習 事前・事後指導 (Prior Afterward Guidance)				
教員免許取得のための必修科目／選択科目			必修科目 (中学校「技術」, 高等学校「工業」)				
開講時期	前 期	単位数	1 単位	担当教員名		担当形態	単 独
科 目	教育実践に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育実習 (学校インターシップ (学校体験活動) を 1 単位まで含むことができる。)				
【授業の到達目標及びテーマ】 事前指導では教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、事後指導では教育実習で得られた成果と課題等を省察し、教員として必要な知識や技能等を自らの課題として見出し解決に取り組むことができる。これらをおしえて教育実習の意義を理解することを目標としている。							
【授業の概要】 教育実習の内容や方法を情報機器等を活用して解説し、教育実習を充実したものにするためにアクティブラーニングを取り入れ理解を深める。教育実習の準備から終了までの課程を想定して実習中の様々な課題についても解説する。特に、教育実習の中心課題である授業の展開については、模擬授業を実施して知識と技術の習得に努めさらに、教育実習後には具体的な体験をもとにまとめをしていく。							
【授業計画】							
回数	題 目	授 業 内 容		学習課題 (予習・復習)		時間(分)	
1	教育実習の目的と意義, オリエンテーション	教師養成と教育実習, 教育実習の目標, 教育実習の内容, オリエンテーション		シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0	
2	教育実習の事前研修	教育実習の事前研究, 教育実習の形態, 教育実習の評価項目		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0	
3	教育実習の心得(遵守義務と責任)	教育実習の基本的な姿勢, 教育実習の心得		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0	
4	教育実習の内容 1 (観察と実態把握)	学校経営, 学校の組織, 生徒理解, 教育課程		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0	
5	教育実習の内容 2 (学校実務)	生活指導, 学級経営, 学校保健, 学校内外の施設と環境		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0	
6	授業設計, 授業研究 (指導教員等の授業観察)	教材研究の実際, 学習指導の実際, 授業研究の実際, 生徒の実態把握と課題		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0	
7	教育実習直前の準備	教育実習日誌の意義, 教育実習日誌の記入の留意点		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		3 0 6 0	
8	学習指導案とその書き方 (情報機器の活用)	学習指導案の形式とその書き方 (技術, 数学, 工業)		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0	
9	学習指導案の作成と指導の実際 1	学習指導案の作成と模擬指導 (中学校「技術」)		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0	
10	学習指導案の作成と指導の実際 2	学習指導案の作成と模擬指導 (高校「工業」機械,電気)		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0	
11	学習指導案の作成と指導の実際 3	学習指導案の作成と模擬指導 (高校「工業」建築,土木)		プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。		6 0 6 0	
12	事後研究 1	報告書の作成 報告会 (自己評価)		教師のあるべき姿について考察する。 課題[先輩教師の講話感想]のまとめ		6 0 6 0	
13	事後研究 2	教育実習のまとめと自己研鑽課題 (教材研究,授業設計), 現職教員との懇談		提出課題のまとめ 授業の内容を復習する		6 0 6 0	
14	事後研究 3	教育実習のまとめと自己研鑽課題 (学級経営と学校経営)		学校活性化方策について調べる 授業の内容を復習する		6 0 6 0	
15	まとめ	授業全体を振り返り要点を確認する		配付資料の整理 授業の内容を復習する		6 0 6 0	
	定期試験						
【テキスト】 テキストは特に定めない。毎時間、授業の骨子・内容に関するプリントを用意する。							
【参考書・参考資料等】 中学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領解説 教科「工業」編							
【学生に対する評価】 [資料整理,課題提出,ノート取得状況, 教育実習報告会での内容及び態度] (3 5 %) [定期試験] (6 5 %) で総合的な評価を行う。							
【実務経験内容】							

教科番号	6545	授業科目名	教育実習Ⅰ（student teachingⅠ）			
教員免許取得のための必修科目／選択科目			必修科目（中学校「技術」、高等学校「工業」） ※ 中学校「技術」については、「教育実習Ⅱ」を履修すること。			
開講時期	前期	単位数	2単位	担当教員名		
科目	教育実践に関する科目		担当形態	当該実習校の指導教員との連携		
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育実習（学校インターシップ（学校体験活動）を1単位まで含むことができる。）			
【授業の到達目標及びテーマ】 学校現場において指導教員を中心にした教育実習の体験をととして、教育者としての愛情と使命感を深め、教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚し教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることを目標としている。						
【授業の概要】 教育実習は、実習校において観察・参加・実習という方法で教育実践に関り、学校教育の実際を体験的・総合的に学修し、生徒の実態、学校経営及び教育活動の特色を理解することができる。また、大学で学んだ教科や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を各教科や教科外活動の指導場面で実践するための基礎を修得する。						
【授業計画】						
題目と授業の内容 1 教育実習は10日間（2週間）とする。 2 観察及び参加並びに教育実習校の理解に関する事項 （1）生徒との関わりを通して、学級や生徒の実態を理解押し課題を把握することができる。 （2）指導教員等が実施する授業を視点を持って観察することができる。また、事実在即して記録することもできる。 （3）教育実習校の学校運営について、学校経営方針や特色ある教育活動とそれらを実施するための組織体制について理解できる。 （4）学級担任や教科担任等の実務を理解し、補助的な役割を担うことができる。 3 学習指導及び学級経営に関する事項 （1）授業について教材研究をしっかりと行い、学習指導要領及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し授業を展開することができる。 （2）指導教員等の授業を参観することで、学習指導に必要な基礎的技術（話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成など）の効果的な活用を観察し、自らの授業でも適切な場面で情報機器など効果的に活用できる。 （3）担任が行う朝や終了時のショートホームルーム（SHR）また、学級日誌や生活日誌など生徒との関わりを観察し、学級担任の役割と職務内容について実地に即して理解できる。また、様々な活動の場面で適切に生徒と関わる事ができる。						
【テキスト】 教育実習の手引き、資料プリント						
【参考書・参考資料等】 授業中に資料プリントを適宜配布する。 中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、高等学校学習指導要領解説 教科「工業」編						
【学生に対する評価】 教育実習校から送られてくる「教育実習成績評価表」、レポート「教育実習を終えて」の評価などを総合的に評価する。						
【実務経験内容】						

教科番号	6546	授業科目名	教育実習Ⅱ（student teachingⅡ）			
教員免許取得のための必修科目／選択科目			必修科目（中学校「技術」）			
開講時期	前期	単位数	2単位	担当教員名		
科目	教育実践に関する科目		担当形態	当該実習校の指導教員との連携		
施行規則に定める科目区分又は事項等			教育実習（学校インターシップ（学校体験活動）を1単位まで含むことができる。）			
【授業の到達目標及びテーマ】 学校現場において指導教員を中心にした教育実習の体験をととして、教育者としての愛情と使命感を深め、教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚し教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることを目標としている。						
【授業の概要】 教育実習は、実習校において観察・参加・実習という方法で教育実践に関り、学校教育の実際を体験的・総合的に学修し、生徒の実態、学校経営及び教育活動の特色を理解することができる。また、大学で学んだ教科や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を各教科や教科外活動の指導場面で実践するための基礎を修得する。						
【授業計画】						
題目と授業の内容 1 中学校教員免許取得希望者は、10日間（2週間）の教育実習に引き続き、更に5日間（1週間）の実習を行うこととする。 2 観察及び参加並びに教育実習校の理解に関する事項 （1）生徒との関わりを通して、学級や生徒の実態を理解し課題を把握することができる。 （2）指導教員等が実施する授業を視点を持って観察することができる。また、事実在即して記録し分析することもできる。 （3）教育実習校の学校運営について、学校経営方針や特色ある教育活動とそれらを実施するための組織体制について理解できる。 （4）学級担任や教科担任等の実務を理解できる。 3 学習指導及び学級経営に関する事項 （1）授業について教材研究をしっかりと行い、学習指導要領及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し授業を実践することができる。 （2）指導教員等の授業を参観することで、学習指導に必要な基礎的技術（話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成など）の効果的な活用を観察し、自らの授業でも適切な場面で情報機器など効果的に活用できる。 （3）担任が行う朝や終了時のショートホームルーム（SHR）また、学級日誌や生活日誌など生徒との関わりを観察し、学級担任の役割と職務内容について実地に即して理解し、補助的な役割を担うことができる。 （4）教科指導以外の様々な活動の場面で適切に生徒と関わるすることができる。						
【テキスト】 教育実習の手引き、資料プリント						
【参考書・参考資料等】 授業中に資料プリントを適宜配布する。 中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、高等学校学習指導要領解説 教科「工業」編						
【学生に対する評価】 教育実習校から送られてくる「教育実習成績評価表」、レポート「教育実習を終えて」の評価などを総合的に評価する。						
【実務経験内容】						

教科番号	6547	授業科目名： 教職実践演習（中・高）		担当教員名：	
開講期間	後期	単位数： 2 単位			
科 目	教職に関する科目（教職実践演習）				
履修時期	4 年次後期	履修履歴の把握	○	学校現場の意見聴取	○
受講者数	30 人				
【教員の連携・協力体制】					
・教職課程委員会を基軸に教職専任教員と教科担当教員が連携・協力して学生の指導にあたる。					
・授業計画の項目、第 1 0 回目から第 1 3 回目の講義では、教職専任教員・教科担当教員・実習協力校の教員がチームティーチングを編成し学生の指導にあたる。					
・「履修カルテ」を基に、学生個人の修学状況を把握し、さらには個性や動向についての知見を教職実践演習に携わる全教員が共有して学生の指導にあたる。					
【授業の到達目標及びテーマ】					
変化の激しい時代の学校教育においては、生徒の興味関心等に基づき、生徒自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成することが求められている。					
このために、教職を目指す者に最新の教育に関する動向等を踏まえつつ、教職の意義や教員の役割を再確認させ、教員の具体的職務内容や学校現場の実態等について理解を深めさせ、教科指導や生徒指導等に関する実践的指導力の定着を図るとともに、教員としての資質能力の向上を図る総合的な実践を行う。					
【授業の概要】					
実践的な体験を重視する観点から本講座は、教職経験のある複数の教職専任及び教科専任の教員が担当し、授業内容をいかに実際の指導に活かすかという視点に立った、具体的な課題に沿って演習形式で進めていく。					
授業計画					
回数	授 業 内 容				予習、 復習
1	イントロダクション（ガイダンス）、大学における本講座「教職実践演習」の位置づけを確認する。				60 分 60 分
2	教育実習での経験から得た教職の意義、教員の役割、職務内容等は何かを視点（使命感・責任感・教育的愛情等）に沿ってグループ討論し、教師に求められる具体的資質能力について発表する。				90 分 60 分
3	学校の一員として、上司・同僚教師・職員との関係構築法についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、新任教師として対応の具体について疑似体験）				60 分 90 分
4	教員として、保護者や地域関係者との人間関係の構築法についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、学級 PTA の企画・運営やモンスターペアレント等への対応の具体について疑似体験）				90 分 60 分
5	生徒の集会や保護者会における教師のスピーチの在り方をロールプレイングしながら習得する。（特に、全校朝会や学級 PTA におけるスピーチをテーマにそって疑似体験）				60 分 90 分
6	教員として、生徒との人間関係の構築についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、反社会的行動の生徒や校則違反生徒等への対応の具体について疑似体験）				60 分 90 分
7	教員として、生徒との人間関係の構築についてロールプレイングをしながら習得する。（特に、不登校生徒への対応の具体について疑似体験）				90 分 60 分
8	学級経営の意義を理解し、実際に中学校・高等学校の学級経営案を作成し、グループ討論を行う。（鹿児島第一中学校・高等学校との連携）				60 分 90 分
9	現在の中学校・高等学校の様子を実際に見学し、学校現場の責任者より学校教育の課題等について講話を聞く。（鹿児島第一中学校・高等学校との連携）				60 分 90 分
10	中学校の「技術・家庭科」「数学」の学習指導の実際を自作指導案に基づき展開し、グループ討論を行う。				90 分 60 分

11	同上	90 分	60 分
12	高等学校の「数学」、「情報」、「工業」の学習指導の実際を自作指導案に基づき展開し、グループ討論を行う。	90 分	60 分
13	同上	90 分	60 分
14	教科の指導力とは何かをグループで討論し、今の自分に備わっている資質能力や不足している資質能力についてまとめる。	90 分	60 分
15	今求められている教師の資質能力とは何かを本講座の全体を振り返りながらまとめる。	90 分	60 分
【テキスト】 : 配布資料			
【参考書・参考資料等】 : 特になし			
【成績評価基準・方法】 : 授業への参加状況。学習状況（意欲、協調性）等から教員として必要な資質能力の修得を総合的に評価する。複数の教員により、学校現場の視点も加味して多面的な評価を行う。			
【実務経験内容】			